

## ～ ゆかりのまちを訪ねて ～

### 日本の花火と「鍵屋」「玉屋」～奈良県五條市（交流都市）～

新年や夏祭りで打ち上げられる大きな花火。見物客からあがる「かぎや～！」「たまや～！」という掛け声を聞いたことがある方もいるのではないのでしょうか。

この掛け声は、花火大会のルーツとも言われる、江戸時代の両国川開きの大花火を支え続けた「鍵屋（かぎや）」と「玉屋（たまや）」の2軒の花火屋の屋号で、鍵屋の初代弥兵衛は現五條市（旧大塔町篠原）の出身であると伝えられています。

弥兵衛は奉公先の地元花火工場で技術を磨き、1659（万永2）年、江戸に出て花火屋「鍵屋」を開きますが、すぐに幕府御用達となったことから、その技術の高さをうかがい知ることができます。その後、六代目弥兵衛のときに両国川開きが行われて以後は、鍵屋がこの川開きの大花火を支えていくこととなります。そして八代目弥兵衛のとき、番頭の清七（せいしち）にのれん分けで「玉屋」を開かせてから、鍵屋、玉屋の双方が両国橋を挟んで上流と下流に陣取り、互いに花火の技を競い合うようになります。

現在もお馴染みの「かぎや～！」「たまや～！」の掛け声は、どちらの花火かを紹介する意味もあって、大花火を見物する納涼舟やお座敷客から水面で叫ばれるようになりました。

今のように丸く開く打ち上げ花火は、明治時代の十代目鍵屋弥兵衛まで開発を待つこととなりますが、今も私たちを魅了する大きな花火、それを支え続けた「鍵屋」と「玉屋」のルーツは、どちらも現在の五條市にあると伝えられています。

鍵屋の伝統とのれんは長きにわたり血縁で守られてきましたが、昭和40年に同業者へと受け継がれました。鍵屋は現在、初代弥兵衛から数えて15代目となり、江戸川区花火大会や浦安市花火大会といった日本を代表する花火大会を取り仕切るほか、芸術性の高い日本の花火を世界各地で打ち上げ続けています。

問合せ 企画政策課 ☎ 21-2117

### ～ A L T（語学指導助手）と町内の子ども達の交流事業を実施しました～

#### 『GENKI ENGLISH!!』



1月12日（金）中央公民館の調理室で小学校4～6年生15名がALTの先生と英語を使ったお絵かきゲームやスコットランドのお菓子であるスコーン作りなどを行いました。子どもたちは元気に一生懸命取り組み、ALTの先生や他校の生徒と仲良く交流を深めました。

#### 『英語 de おはなし会』

1月21日（日）図書館で幼児～大人まで英語に興味のある方を対象に英語での絵本の読み聞かせ、歌、音楽に合わせた体操などを行いました。当日は44名が参加し、ALTの先生から英語や絵本の楽しさを学びました。



これらの2つの事業は、外国人との交流等を通じ国際交流に関する意識の高揚を図ることや、英語を身近なものとして感じてもらうことを目的に実施しています。

次年度以降も継続的に実施していきますので、みなさまのご参加をお待ちしております。

問合せ 国際交流推進協議会事務局（企画政策課） ☎ 21-2117 / 図書館 ☎ 22-6041

#### 【余市観光協会からのお知らせ】

### 余市ゆき物語

### 「余市ホワイトイルミネーション～琥珀色の夢～」は2月18日（日）まで

JR余市駅前前で実施中の「余市ホワイトイルミネーション～琥珀色の夢～」は2月18日（日）で終了します。

このイルミネーションは小樽と余市の合同イベント「小樽・余市ゆき物語」の一環として午後4時（2月からは5時）から10時まで毎日点灯しています。

ウイスキーをイメージしたメープルゴールドの光と、同時に実施されているニッカウヰスキー余市蒸溜所正門のライトアップで幻想的な雰囲気醸成されています。終了まで残り少なくなりましたが、ぜひ冬の光の空間を楽しんでください。



#### ローカルフードパスケット好評発売中!!

「余市ゆき物語」の期間中（2月18日まで）、余市・小樽34店舗のグルメをお得に食べれる「ローカルフードパスケット」が好評発売中です！

「ゆき物語」限定特別メニューもあります♪

小樽・余市ゆき物語 URL <http://www.otarusnowstory.com>

2,500円  
[3枚綴り]

通常900円以上のメニューが食べられるお得なチケットです！



チケット販売・問合せ 余市観光協会 ☎ 22-4115 / E-mail: info@yoichi-kankouyoukai.com